

島独自の歴史と

美味を堪能する

# 対馬

## 九

九州の最北端に位置する対馬は長崎県内最大の離島で、北方四島・沖縄本島を除くと日本で三番目に大きな島。九州と韓国の間にある対馬海峡に浮かび、韓国・釜山から約五十キロの場所にあることから「国境の島」として、国防の役割を果たすとともに、交易・交流の拠点として栄えてきた。

対馬は南北約八十二キロに延びる縦長の島。その長い道を車で走れば、すぐに島が緑にあふれていることに気付く。それもそのはず、対馬は約八十九パーセントが山林で、あちこちに原生林が残っている。また島にはツシマヤマネコや対馬馬、オウゴンオニユリなど対馬ならではの貴重な生き物や植物、珍しい

渡り鳥などが見られることから、撮影を目的に訪れる人も多い。

日本有数の広大なリアス式海岸からなる「浅茅湾」や、晴れた日には韓国釜山市の町並みが望める「韓国展望所」など、国境の島を実感する風景はもちろん、シーカヤック体験やサイクリングなどのアウトドアスポーツを楽しむのもおすすめ。島の南北で多様な文化が育まれており、往来すれば、二つの島を旅しているかのような気分を味わえるのも対馬の魅力だ。

対馬へは長崎・福岡空港から飛行機、または博多港から船で。大自然を感じるダイナミックな島旅を満喫しよう。

